

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	エコツーリズム総合推進事業費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	総務課自然ふれあい推進室		室長 堀上 勝	
会計区分	一般会計		施策名	5-5 自然とのふれあいの推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	エコツーリズム推進法 § 4~7、11~17		関係する計画、 通知等	エコツーリズム推進基本方針 生物多様性国家戦略2010			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	エコツーリズム推進法の基本理念(①自然環境への配慮、②観光振興への寄与、③地域振興への寄与、④環境教育への活用)を踏まえた地域におけるエコツーリズムの一層の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムの普及・定着のため地域協議会等への技術的な助言や指導等を行う。 ・エコツーリズムに関し、国民の理解を深めるため、先進事例の収集や広報活動等(エコツーリズム大賞、各種イベント・HPIによる情報提供等)を行う。 ・自然観光資源の保全及び地域活性化のため、エコツーリズム推進に伴う自然観光資源への影響調査や利用コントロール手法の検討及び関係省庁の施策と連携したモデル事業等を行う。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	126.2	125.6	0.0	29.6	23.7
		補正予算	0.0	0.0	0.0	0.0	
		繰越し等	0.0	-8.5	8.5	0.0	
		計	126.2	117.1	8.5	29.6	23.7
		執行額	114.6	88.6	8.49		
	執行率(%)	90.7%	75.6%	99.9%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定数		成果実績 (累計)	1	1	1	3 (24年度)
			達成度	%	33.3%	33.3%	33.3%
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	エコツーリズム推進協議会への指導		地域	—	—	19	— (27)
	エコツーリズム大賞への応募		件数	83	68	63	— (65)
単位当たり コスト	当事業は、上記の定量的な指標のみで評価することは適当ではないことから、事業全体として適正なコスト算出をすることは困難。		算出根拠	—			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.3	0.2				
	職員旅費	0.6	0.6				
	委員等旅費	0.7	0.4				
	環境保全調査費	28	22.5				
計	29.6	23.7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	エコツーリズム推進法に定める国の責務を果たすために必要な事業であるが、事業仕分け(第3弾(下記「補記」欄参照))における指摘を受け、23年度の予算計上を見送った。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	エコツーリズム推進事業支援業務を実施するために必要な能力を有する者を選定。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	エコツーリズムの推進体制の強化が図られ、東北地方での全体構想策定に向け気運が高まった。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度の予算計上は見送り、省内に設けた有識者会議(エコツーリズム推進方策検討会)の議論を踏まえ、必要な事業を整理した。なお、震災の影響を受け、東北地方環境事務所の平成22年度事業を平成23年度へ繰り越したが、事業を適切に実施し、エコツーリズムの推進が図れた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業仕分けの結果を受け、有識者会議の議論を踏まえて必要な事業を整理し、平成24年度に予算計上しており、これらの事業を継続していく必要があるが、事業を効率的に実施することにより、予算額を節減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	検討会の開催回数及びモデル事業の実施地域数を削減すること等により、概算要求額を減額。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【事業仕分け(第3弾)の対象】</p> <p>○事業番号・事業名 B-9 エコツーリズム総合推進事業費</p> <p>○WGの評価結果 来年度の予算計上は見送り</p> <p>○とりまとめコメント 本事業については、評価者12名のうち、廃止が5名、予算計上見送りが3名、予算縮減が4名、うち3名が半減、1名が1/3縮減であった。評価者からは、効果・アウトカムが検証できない、地域の自主的な取り組みを促す施策に集中すべき、法律上の普及啓発義務があるからといって予算計上を行うのは短絡的、全体的な戦略ができるまで予算計上は見送るべき等の意見があった。 以上をもって当WGとしては予算計上見送りとさせていただく。エコツーリズムにおいて環境省が何をすべきかが問われている。他省庁との役割分担を含め、真摯にこの結果を受け止め、検討していただきたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	167	平成23年行政事業レビュー	161

環境省
8.49百万円

|

東北
地方環境事務所
8.49百万円

|

【企画競争】
A.(財)日本交通公社
8.49百万円

〔平成22年度白神山地エコツー
リズム推進事業支援業務〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載）	A.(財)日本交通公社					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	技師長:49人日、技師B:62人日	4.21			
	旅費	会議及び現地調査、モニターツアーに係る旅費	1.66			
	印刷製本費	報告書、小冊子等印刷費	0.81			
	その他	会議費、消耗品費、通信運搬費、臨時要員費、雑費	0.56			
	諸謝金	講師謝金、ガイド料、アンケート協力費等	0.50			
	一般管理費		5.39			
	消費税		0.66			
	請負者負担分		-5.30			
	計		8.49	計		

支出先上位10者リスト

A.(財)日本交通公社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本交通公社	平成22年度白神山地エコツアーリズム推進事業支援業務	8.5	企画競争	—